

# 新学習指導要領で中学校英語教科書はどう変わったのか

## 物語文をクリティカル・リーディングするために

藤本 幸伸

How do changes in English textbooks matter?

FUJIMOTO Yukinobu  
(Received August 6, 2021)

キーワード：英語教科書、英語語彙、クリティカル・リーディング

### はじめに

平成29年に改訂された中学校学習指導要領に基づいた英語教科書の本格的な使用が、令和3年4月から始まった。大きな改訂として挙げられるのが、1) 語彙の大幅な増加と2) 言語活動の拡充である。改訂点の一つである1) 語彙の大幅な増加は、中学校段階で学習する英語のあり方を大きく変えていくことになる。中学校の英語で学んでいた語彙の一部が、小学校英語の教科化にともない、小学校英語語彙600～700に組み込まれ、かつ中学校で扱う語彙数が約1,200語から1,600～1,800語へと拡大された。この語彙の増加によって、教科書の総ページ数は約2割増え、また活字のポイントが若干小さくなり1ページに収録される英文量は増加した。また、2) 言語活動の拡充に伴い、文法項目の習得に当てられていたスペースが縮小し、具体的な場面でその文法項目を使う活動が増えることになった。単に言語の使用活動が増えただけでなく、異なるタイプのテキストをグラフや表とともに読んで理解し、自己表現へと繋げていく言語活動へと変化している。指導の重点が、テキストの理解を確認することから、テキストに書かれている事柄の理解を前提にして生徒がその事柄に対してどのように向き合うかへ移行している。例えば、*New Horizon 3*のUnit 6 *Beyond Borders*では、国境を超えて助け合うという内容のテキストをパラグラフ構成に沿って理解した後、テキストに書かれている「国際関係はますます相互に依存するようになっていく」ことについて、ニュース等で見つけた事例を使って、クラスメートと話し合い、自分の感想を発表する活動が組み込まれている。

平成29年度に学習指導要領改訂が明らかになって以降、「基礎セミナー」「英語文学演習」「英語科内容開発研究」の授業で、以上の改訂について触れてきた。本稿では、上記の授業で触れてきた事柄のうち、1) 語彙の大幅な増加と2) 言語活動の拡充に伴う新しいテキストとの向き合い方、また、授業で触れるべくして触れることができなかつた抽象概念の語彙について、まとめていく。

## 1. 各社の英語教科書内容解説から見る英語教科書の変化

「英語文学演習」「英語科内容開発研究」の授業では、中学校英語教科書の中から全国の中学校で採択率の高い3社の教科書内容解説資料を使って、各社が自社教科書の変更点をどのように解説しているかを確認した。また、授業では扱えなかったが、学習指導要領改訂前と後の*New Horizon*収録語彙を比較し、どのような語彙が増えているのかを確認し、テキストの質がどのように変わっているかを検討していく。

### 1-1 英語教科書内容解説からわかる英語教科書の変化

全国でも採択率の高い東京書籍*New Horizon*、三省堂*New Crown*、開隆堂*Sunshine*の教科書内容解説から、語彙の増加にどのように対応しているか、テキストの分量がどのくらい増加しているか、テキストの読解にどのような工夫を行っているかの観点から、教科書の変化を確認した。

3社通じて、1) 小学校英語との接続への配慮、2) 学習指導要領で唱われている「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」の育成に合わせた単元構成、3) 増加した語彙の負担への配慮、4) テキストタイプに応じた読み方などを特徴として挙げる。2) の単元構成については、一見すると、従来とあまり変わらないように思えるのだが、使う立場からみると、文法項目を習得するスペースが縮小され、その分、言語を使用する活動にページが当てられていることがわかる。使う場面に即したコミュニケーション活動が充実したということだろう。

### 1-1-1 東京書籍 *New Horizon*

わざわざ「語彙の扱い・時数への配慮」と題するページを用意して、本教科書が増加した語彙について、どのような対応を行ったかを示している。新学習指導要領で、中学校では、小学校で学習した600~700語に1,600~1,800語を加えた語を学習するよう示されたことを受け、「本教科書では小学校の既習語として630語を選び、中学校の新出語を約1,700語とし、合計約2,300語を取り上げています」とある。この約2,300語から、しっかり身につければ中学生として十分に豊かなコミュニケーションが取れるとされる基本語1,000語を抜き出し、さらに、各Unitの本文に現れる語を新出語としているので、本文を扱う際に授業内で指導することが効果的であると、わかりきったことをわざわざ言葉にしている。それだけ、生徒にも教員にも新出語が負担になるということだろう。また、新出語を掲載する語彙欄について、CEFR-JのA1レベルに相当する「話したり書いたりして発信できる程度にまで定着させたい語」を基本語として太字表記したことや、既習語扱いとなっている小学校学習単語についても、初出段階で「小学校の単語」と表記するなど、細かな配慮が伺える。たしかに、従来も覚えたい単語を太字表記していたが、旧版の英語教科書では太字表記されていなかった *afraid*, *agree*, *careful*, *character*, *choose* などの単語が基本語として太字表記され、「覚えたい単語」は確実に増えている。増加した語彙をすべて学習させなければならないと考える教員への配慮であろう、教科書執筆者と思しき人物のイラストに「2,300語全てを定着させる必要はありません。各単語の重要度や生徒の学習段階に合わせて軽重をつけて指導したいですね。また、生徒によって、発信に使う語が異なることにも留意しましょう」(28) という吹き出しを付け、生徒の語彙学習が過度の負担にならないよう配慮を見せている。

次に、教科書掲載の英文の量を確認しておく。300~700語程度の長文読解問題が出題される高校入試および新学習指導要領による指導語彙の増加を踏まえ、段階的に英文量を増やしている。具体的に中学校3年次の新旧英語教科書で比較すると、Unit4のRead and Think 1・2は、旧版は83語と92語の総語数175語であったのが、新版では142語と144語の286語になり、111語読む分量が増えている。Let's Readでは、旧版の総語数1188語(278語、422語、488語)が、新版では1352語(440語、403語、509語)と164語増加し、名作鑑賞は同じ物語で語数は変わらないが、旧版のFurther Readingには2題の英文(506語、398語、総語数904語)が掲載されていたが、新版のOptional Readingでは3題に増え(319語、270語、588語、総語数1177語)、273語多くなっている。中学校3年時で読む英文テキストは、Optional Readingや名作鑑賞を扱わなかったにしても、各Unitで110語相当増加しているとすると、全6Unitで700語近くの英文分量が増加したことになる。分量に加え、SDGsを意識したテーマを扱う各Unitの英文テキストを、表や図版とともに読み取っていくことが求められていることを考えれば、これまで以上に英文を読み取る作業の効率化が求められると言える。

最後に、英文テキストへの向き合い方にどのような工夫が凝らされているかを見ておこう。これまでの中学校段階の英文は、一読すれば内容が理解できるような日常的な内容を扱っていた。また、Let's ReadやFurther Readingの少し長めの英文テキストでも、物語や著名な人の伝記など、興味本位で読んでいけばよいテキストであり、問いがあるとしても、出来事の順序やどういう出来事があったのかの確認であったり、感動した一文を抜き出す、伝記内容に応じた写真についての感想を述べるといった受信中心の活動で、読んだ内容に基づいて自己表現するためにテキストを読むという発信型の活動ではなかった。

目立たないが、新しい学習指導要領で大きく変わったのは、読む活動だろう。*New Horizon*の教科書内容解説は、「中学校では、本格的な読みの指導が始まります」と発信につなぐ読み方を紹介する。テキストを読み、自分の考えを深め、表現するためのテキストの読み方「三段階読み」を導入したとある。「三段階読み」とは、概要・大意をつかみ、詳細を押さえ、表現につなげるテキストタイプに応じた読み方と解説されている。「必要な情報を読み取る」、「概要を捉える」、「要点を捉える」こと、そうやって「得られた

情報や表現」を活用し、「話したり書いたりして」自分の考えや気持ちなどを表現する力が求められます。内容の理解にとどまらず、考えを表現する力は、全国学力調査や入試でも問われます」(4)と強調される「本格的な読みの指導」は、これまでの受信型から発信型への大きな変換であり、指導する教員の読みに対する意識転換が求められるだろう。以下、2社が特徴として挙げている箇所限定して、確認しておく。

### 1-1-2 三省堂 *New Crown*

三省堂の*New Crown*もまた、語彙に関してかなりの配慮を行っている。まず、小学校英語教科書*We Can!*の語彙リスト、CEFR-J(A1/A2)の語彙リスト、学習者コーパスを使って、語彙1,600~1,800語を選定したとあり、さらに、その語彙の中から中学生に身につけてほしい601語と小学校で学んでいる281語を発信語彙として太字表記している。

読む力の指導の焦点は、1)まとまりのある英文を読む目的、場面や状況などの設定あるいは文化的背景知識の内容スキーマを活性化して読む、2)概要・要点の理解に向けて、補助タスクに取り組みながらテキストを繰り返し読み、長文を読む力を養成する、3)場面や状況を踏まえて、読み取ったことをもとに自分の考えを整理し、それを話したり書いたりして発信する、というように、受信から発信に置かれている。また、テキストを意見文、説明文、物語文のジャンルに分けるとともに、新聞・ウェブサイト記事・パンフレット・スピーチ原稿・ガイドブックのコラム・伝記や文学作品の書籍など様々なテキストタイプに応じた読み方が身につくようタスクを設けている。協同的対話的な深い学びを引き出すような、他教科で学んだことと関連のある題材を選定するなど、読む指導に力点を置いていることが伺える。

また、英文量については、年々長文化が進んでいる高校入試問題や高校英語に繋げるために、英文テキストの概要や要点を捉えながら読む力が身に付くよう、3年生最後には375語や473語の英文テキストを用意している。このように、語彙の増加に伴い、英文テキストの分量も多くなっているのは、*New Horizon*と同じである。

### 1-1-3 開隆堂 *Sunshine*

開隆堂*Sunshine*もまた、語彙と英文テキストの分量への配慮を行っている。自社教科書の平成29年度版と令和3年度版の本文ページ数、文数、語彙数を比較している。中学校3年生教科書のページ数に関して、令和3年度版は、付録ページ数は8ページ減っているが、本文は96ページから112ページと16ページ増加している。また、課数は、9から7に減り、セクション数も29から21に減っているが、文数は19から20へと増えている。つまり、一つの課の一つのセクションの英文テキストの分量が増えているが、文数は変わらないということは、セクション内の1文が長くなっているということだ。言い換えれば、単文から接続詞や不定詞・関係詞などを含んだ等位文や複文が多くなっているということだろう。例えば、If you want to buy it, look for chocolate that has the fair trade logo on its package,やThe patch which the researcher found in the Pacific is the largest of all.といった、接続詞ifや関係詞を含んだ長い文が多くなっているのである。新語数について、平成29年度3年生の新語数が305語であったのに対し、令和3年度は538語(発信語彙32語、受信語彙455語)と、233語増加している。中学校1年生の新語数524語(平成29年度と同じ)、2年生の増加分151語(412語から563語)と比べて、中学校3年生の語彙の増加量は大きな変化だろう。

読みに関しても、「能動的な読み手を育てる」工夫として、3つのstageを用意する。1st Stageで、題材に興味をもち概要をつかみ、2nd Stageでは、背景情報と3種の問いを使って詳細を読み込み、最後の3rd Stageで、情報を整理し読んだ事柄について自己表現する。3種の問いとは、代名詞や概要をおさえるCheck、本文に直接書かれていない情報を読み取るGuess、そして題材を自分に引きつけて考えるShareという問いで、これらの問いを使って能動的な読み手を育成すると言う。*Sunshine*もまた、読み方に関しては、受信から発信へとその重点を移しており、従来とは一線を画している。

## 1-2 英語語彙の変化

「英語文学演習」「英語科内容開発研究」の授業では、新しくなった英語教科書がどのような語彙を追加したのかを検討することはできなかった。授業開始前に、中学校で4月から使用が始まる教科書を購入することができなかったからだ。ここで、語彙数が多くなると言っても、本当に何語増えているのか、また、ど

のような語彙が追加されているのか、その語彙が追加されることで言語活動にどのように資するのか、あるいは生徒の負担になるのかを検討しておきたい。

新版の *New Horizon* は、約1,700語を新出語として選定している。この内、旧版には掲載されていない新語は約240語あり、この新語から24語が基本語に選ばれている。即興的な受け答えや Stage Activity などのコミュニケーション活動を円滑に行う上で、生徒が語彙に困らないように設けられている Word Room では、旧版にあった食事（おにぎりやカレーライスなどの38語）や職業（医者や画家などの29語）の語彙が無くなり、趣味・休日の過ごし方に関する語彙23語、自然災害・防災に関する語彙25語、環境問題に関する語彙25語、SDGsのキーワード21語、計94語が新たに追加されている。従来からある性格・感想・気持ちに関する語彙でも、新たに「イライラした (be annoyed with) ・うろたえた (upset) ・塩からい (salty) ・苦い (bitter)」など Word List に含まれていない語が追加されている。また、Word Room に掲載されている語彙は、例えば、ecosystem (生態系) や emergency exit (非常口) の emergency のように、巻末の Word List に掲載されている語もあれば、embarrassed (恥ずかしい) や inequality (不平等) といった語のように、掲載されていない語もある。いずれにせよ、新版の英語教科書に掲載されている語彙を「しっかり身につければ中学生として十分に豊かなコミュニケーションが取れる」ことは間違いないだろう。

旧版にはなかった新語約240語は、数だけ見れば、それほど大きなものではない。だが、新語として採用されている語を見ていくと、具体的な行動・位置や気持ちを表す語とは異なる、出来事間の関係や対象物から受け取る心理状態を示す抽象概念語が多い。一例を挙げると、affect, agony, amount, apply, burden, charge, detail, discrimination, domestic, exception, extend, extinction, feature, found, functional, general, handle, horror, illegal, illiterate, independence, interdependent, measure, misunderstanding, moment, negative, non-violence, perform, pursue, relate, relation, relationship, remind, remove, resource, respect, role, satisfy, sacred, service, society, specific, strict, supply, survey, symbol, translate, translation, transport, trouble, trust, various, violence, weapon, weigh, wisdom などの動詞・名詞・形容詞である。

中学3年生にもなると、抽象概念を使って書かれたテキストを理解できるようになっているだろう。だが、具体的な場面や状況の中で使う語や具体的な出来事から受ける心情を表す語の多い日本語と具体的な状況の中の個別の有り様を捨象して一般化する表現の多い英語とでは、抽象概念語の理解に差がある。いわゆるハイコンテキスト言語である日本語とローコンテキスト言語の英語の差である。例えば、日本語の文章では「このことは他の種にも影響を与える」と書いたとき、具体的に「影響」とはどんなものかを書き加えなくとも、それは読み手が想像するだろう、理解するだろうとみなせる。だが、英文テキストの場合、抽象的一般的な意味で「影響を与える」と書いた場合、書き手は「例えばこれこれの影響がある、考えられる」と具体的な事例を書き込むことになる。英文テキストに書き込まれている抽象一般表現と具体個別事例の行き来を読み取ることは英文テキスト読解のポイントの一つである。新版 *New Horizon* の Unit 3 Read and Think 2 の英語文章の一部を取り上げて、抽象一般表現と具体個別事例の行き来の理解が前提となって、本文理解の設問が設けられていることを確認しておこう。

本文は、コンゴ民主共和国のゴリラが人間の森林開発のせいで、生息域を奪われ絶滅の危機に瀕していることを訴えた文章である。その英文テキストの第3パラグラフ(42ページ)を読んでみる。また、この箇所には、「本文の15行めに take action とありますが、ゴリラの場合について、次の具体的な対応例が「有効か」や「実現可能か」を考え、意見交換しましょう。また、ほかにどんな対応があり得るか、話し合いましょう」という設問があり、take action という抽象表現(以下の引用文では3行目)に対応する具体例を考えさせる活動となっている。

Why do we have to protect these animals? Each animal has its own role in the ecosystem. If we lose one species, it affects many others. Human beings are also part of this ecosystem. We are all related to each other. So it is important for us to take action now. Let's help the animals survive.

この56語の短い英文テキストの中に、protect, role, ecosystem, affect, relate, take action, survive といった抽象語が7語も含まれている。生徒は、これらの抽象語が何を具体的に指しているかを考えなが

ら読み、更に設問に答えるために、具体事例を想像しなければならない。この短い文章に Each animal has its own role in the ecosystem. のなかの its own role とは何かを具体的に書き込まれていないので、ゴリラの生態に関する予備知識がない場合、この its own role を想像するのは難しいだろう。コンゴ民主共和国のゴリラは生態系の中でどのような役割を担っているのだろうか。そのゴリラが絶滅すると、ゴリラが担っていた生態系内での役割が機能しなくなり、他の種に影響を及ぼすことになると言うが、その悪影響とはどのようなものだろうか、さらにその悪影響を受ける種に人間は含まれるのだろうか。

以上のように、英文テキストの中に抽象語が増えると、その抽象概念が指し示しているだろう具体的事例を想像するという作業が伴う。新学習指導要領は、英文テキストを読むことで、自分の考えや意見を深め、その考えや意見を英語で表現していくことを、一つの目標としている。英文テキストを読んで自分の考えや意見を英語で表現するためには、書き手の主張に対して賛同するのか、賛同するにしても何らかの保留があるのか、あるいは反対なのか、どのような点で反対するのかなどがある程度わかっている必要がある。このような賛同や反対の意見を持つとすれば、書き手が書き込んだ抽象概念から具体事例を想像する作業が重要となるはずである。とは言え、関係代名詞や不定詞などの文法項目を理解し練習する作業に加え、自己表現のための読解練習も行うのは、中学生段階では負担は少ない。次のセクションで、授業でも簡単に触れた「3段階読み」を見ておく。

## 2. テキストの読み方の変化

旧版の *New Horizon* の各 Unit は、Starting out—Dialog と文法項目の練習—Read and Think 1・2 とテキスト内容に関する Q&A—Activity 1・2—Daily Scene がそれぞれ 2 ページあり、各 Unit は 12 ページで構成されている。読みの練習は Read and Think 1・2 で行うことになっている。これに対し、新版の各 Unit は、扉 (1 ページ) —Preview (1 ページ) —Scene 1 (1 ページ) —Scene 2 と Mini Activity (Listen—Speak & Write) (2 ページ) —Read and Think 1・2 と Round (Get the Gist—Focus on the Detail—Think and Express Yourself) (各 2 ページ) —Unit Activity (Step 1・2) (1 ページ) —Let's Listen (あるいは Let's Write/Talk) (1 ページ) という 11 ページ構成になっている。各 Unit のページ数は減ったように見えるが、数 Unit 置きに Learning SCIENCE/CIVICS in English (各 2 ページ) , Stage Activity 1~3 (各 3 ページ) および Let's Read 1~3 が差し込まれ、それぞれ異なる活動を行うことになるので、作業量は実質上増えている。このような構成の中で「3段階読み」は、Read and Think 1・2 の Round (Get the Gist—Focus on the Detail—Think and Express Yourself) で行われる。

新版の問いの性質との違いを明らかにするために、旧版の Q&A がテキストの内容確認のための問いであることを Unit 3 で確認しておく。次は、Read and Think 1・2 の問いである。

<Read and Think 1>

- ① Is cacao made into chocolate?
- ② Why do many children in Ghana have to work on cacao farm?
- ③ What happens if you buy fair trade chocolate?

Think 本文や下のコラムを参考に、フェアトレードによって生まれる利点を 1 つ説明しましょう。

<Read and Think 2>

- ① Did Saki enjoy the fair trade chocolate?
- ② Who has never eaten chocolate?
- ③ What can we do to support the poor children on cacao farm?

Think Read and Think 1・2 を読んで、フェアトレード商品を買いたいと思いますか。理由も含めて考えましょう。

ほぼテキストの該当箇所が分かれば、テキストの表現を抜き出せば、そのまま解答となるような内容確認の問いである。<Read and Think 1>の③の問いは、本文の該当箇所、If you buy fair trade chocolate, more money goes to the workers. という文を見つけ、その文の帰結節を抜き出すことで解答できる。日本

語による問いに日本語で回答する形となっている Thinkの問いは、必ずしも本文の内容を基にして自分の考えを深め表現する活動ではなく、本文のテーマやトピックに関心があれば本文に関係なく感想を述べる類いの問いである。総じて受信中心のテキスト読解活動と言えるだろう。

これに対して新版の「3段階読み」を実践する Read and Think 1・2の問いは、Round 1 Get the Gistでテキストの概要・大意をつかみ、Round 2 Focus on the Detailで詳細をおさえ、Round 3 Think and Express Yourselfで表現につなげていく構成である。

### <Read and Think 1>

#### Round 1 Get the Gist

時間表現に着目して本文を読んで、①～⑤のそれぞれの時期にあった出来事を線で結びましょう。

- ① 明治時代まで ・ 日本の上を以前のようにトキが飛ぶようになるかもしれない。
- ② 1981年 ・ 中国からおくられたトキの繁殖を続ける。
- ③ 2003年 ・ 日本中でトキが見られる。
- ④ 現在 ・ 5羽のトキが佐渡島で繁殖のために捕獲される。
- ⑤ 未来 ・ \_\_\_\_\_

#### Round 2 Focus on the Detail

次の①～⑤の文を読んで、本文の内容に合っているものにはTを、合っていないものにはFを（ ）に書きましょう。

- ① The crested ibis is on the red List. ( )
- ② The number of ibises in Japan decreased very slowly. ( )
- ③ People captured the five ibises to breed them. ( )
- ④ Japan gave some Japanese-born ibises to China as a gift. ( )
- ⑤ We still have some of the original Japanese ibises now. ( )

#### Round 3 Think and Express yourself

①日本のトキと人間の関係について、次の文章の\_\_\_\_に適切な語を入れて説明しましょう。

The population of ibises in Japan decreased because people \_\_\_\_\_ them and \_\_\_\_\_ their environment.

②本文を読んで感じたことや驚いたこと、ほかの人に知ってほしいと思ったことなどを1文で書きましょう。

例 I think it's necessary for us to ....

I'm surprised to know that ....

I want people to know that ....

### <Read and Think 2>

#### Round 1 Get the Gist

3つのパラグラフにそれぞれ日本語の見出しをつける場合、適切なものを下のA～Dから選びましょう。

第1パラグラフ ( ) 第2パラグラフ ( ) 第3パラグラフ ( )

- A 動物を保護すべき理由
- B 電気機器とゴリラの関係
- C すでに絶滅した動物たちの例
- D ゴリラの数が減っている理由

#### Round 2 Focus on the Detail

本文を読んで、次の質問に答えましょう。

- ① When may the gorillas in the Congo die out?
- ② If we lose one species, what happens?
- ③ Are human beings also part of the ecosystem?

#### Round 3 Think and Express yourself

①次の①～③は、コンゴ民主共和国のゴリラが絶滅の危機にひんする因果関係をまとめたものです。下線部に適切な語句を下のA～Eから選んで入れて、文章を完成しましょう。

スマートフォンの写真 — 採掘現場の写真 — ゴリラの写真

- ① We need special \_\_\_\_\_ to make \_\_\_\_\_.
- ② People destroy the gorillas' \_\_\_\_\_ by \_\_\_\_\_.
- ③ Gorillas are in danger of \_\_\_\_\_.

A electronic devices B extinction C habitat D metals E mining

②本文の15行めに take actionとありますが、ゴリラの場合について、次の具体的な対応例が「有効か」や「実現可能か」を考え、意見交換しましょう。また、ほかにどんな対応があり得るか、話し合しましょう。

- ・ Make stricter rules for hunting gorillas
- ・ Protect and try to breed gorillas
- ・ Stop using and producing electronic devices
- ・ (生徒が対応例を想像して書き加えることを想定して空白となっている)

#### Point of View

Why should we protect endangered animals? What can you do to protect them?

例 we should protect endangered animals because \_\_\_\_\_ I think I [we] can \_\_\_\_\_.

新版教科書の問いが全て新しいわけではなく、従来と同じテキスト該当箇所がわかれば、解答できるものもある。だが、<Read and Think 2>のRound 1 Get the Gistは、各パラグラフの見出しを選択肢から選ぶ問いで、各パラグラフの内容を要約できているかどうかを問うている。また、Round 2 Think and Express yourselfの②は、1-2 英語語彙の変化で取り上げた英文テキストの対応する問いである。そのとき説明したように、抽象的表現である take actionの具体的な事例を想像することを求めている。ここでは、予め対応例が記載され、各対応例が有効かどうか、実現可能かどうかを話し合わせるようになっている。このような活動の中から、新しい対応例のアイデアも生まれてくるということを想定しているのだろう。生徒への過度の期待は控えなければならないが、生徒自身が対応例を想像できるようになることが望ましいはずである。実際、直後のUnit Activityでは、トキやゴリラ以外の絶滅危惧品種、イリオモテヤマネコ、シマフクロウ、タンチョウについて、その現状を世界に伝える表現活動が用意されている。例に挙げた絶滅危惧品種以外に自分で思いついたアイデアがあれば、絶滅に瀕している理由や絶滅から守る対応策もすぐに挙げることができ、英語による表現活動に意識を向けることができるだろう。次のセクションでは、「基礎セミナー」や「英語文学演習」で実践しているクリティカル・リーディングの例を取り上げておく。

### 3. 自己表現のためのテキストの読み方

「基礎セミナー」や「英語文学演習」では、旧版の英語教科書から物語文や伝記を使って、テキストの書かれている事柄から書かれていないことを想像する文章の読み方を取り上げている。クリティカル・リーディングあるいはインタラクティブ・リーディングと呼ばれているテキストの読み方である。「基礎セミナー」で使っている開隆堂 *Sunshine* 3の Extensive Reading 2 Mather Teresaの一部を使って、自らテキストに問いを立てながら読む読み方を示しておく。これまでの受信中心の読み方から、テキストに積極的に関わっていく読み方への転換を狙ったものである。このようなテキストに問いを立てながら読むことを実践していくと、自ずと抽象表現に出会うとその具体的事例を想像する習慣も形成され、パラグラフ単位の英語文を書く場合に、英語テキストの特徴である抽象表現とその具体的事例の組み合わせを意識して英語で表現することに繋げることもできる。

総語数398語の Mather Teresaのテキストは、マザー・テレサの生い立ちを説明したあと、コルカタでの活動、貧困地区の子供たちを集めて、アルファベットを教えたというエピソードが説明されたあとの箇所を読んでみる。

She showed the children how to wash, and gave each of them a piece of soap. She also went out and begged for food for the poor.

She loved children very much. She liked to talk about a little boy who was brought to her by

some Sisters. He was suffering from a bad stomachache.

“So I sat the child down and asked when he last ate something. This morning? Nothing. Last night? Nothing. Yesterday? Nothing, The stomachache came from hunger!”

学生にはテキスト全体を読ませて、この文章の要約文を考えさせている。ここで言う要約文とは、試験で課される正解のある要約ではなく、テキスト読解の参照点、言い換えれば、軸となる文脈に沿ってテキストの細部を検討していくためのテキストの参照点という意味である。Mather Teresaの場合、「マザー・テレサは貧しい人や病気の人を助け見返りなく愛した」が要約文となる。この要約文を参照点として、上の引用文を読む練習を試みている。

要約文を作ったあと、改めて引用箇所の英文でわからないところはあるかと問うと、大学生は（おそらく中学生も）わからないところは無いと答える。そこで、She showed the children how to wash, and gave each of them a piece of soap.について、インドの貧しい子どもたちは自分の手の洗い方を知らないと思うか、と問うてみることにしている。すると、学生は「いや、この子どもたちは手の洗い方くらい知っている」と返す。そもそもマザー・テレサは貧しい人や病気の人を助け見返りなく愛した人のはずだ。そのマザー・テレサがなぜ子どもたちに手の洗い方を教えるのだろうか、この手洗いと子ども一人一人に石けんを与えるという情報は、どう関わるのかと、更に問うていくと、マザー・テレサは、貧しい子どもたちは不衛生な環境で暮らし、病気になるリスクが高い、石鹸を使って手洗いを十分に行えば、病気になるリスクは減らせると判断しているのではないかと推測するようになる。この推測の際に活用しているのが、どのような子どもでも手の洗い方くらいは知っているはずだという世界知識である。ここでいう世界知識とは、通常、その社会で常識とされていて、ことさら言語化する必要のない言動や習慣の総体を指す。この世界知識と言語表現が伝える意味（情報）とのズレを自ら問うて、テキストに現れていない事柄を推測していくことになる。テキストに問いを立てながら読むことを教える際に、世界知識を活用することも同時に教えることで、テキストに書かれている事柄を基にして自分の考えを整理し、あるいは深めていくことができ、さらに自分の考えを他者に話したり書いたりして伝えたい気持ちも生まれてくるはずである。

テキストに問いを立てながら読むときに、世界知識だけでなく、語学的知識の活用も必要になる。ここでも、He was suffering from a bad stomachache. という文を改めて学生に問うてみる。学生のほとんどが、この文の理解に困難を感じないゆえに、改めてなぜ過去進行形を使っているのかと問うことをしない。ここでもマザー・テレサは貧しい人や病気の人を助け見返りなく愛した人だという参照点を活用する。つまり、マザー・テレサの何気ないwhen he last ate somethingという質問は、貧しい子どもを手助けするための問いだということ、この問いから、マザー・テレサはThe stomachache came from hunger!と結論したということに学生の意識を向ける。そのうえで、もう一度過去進行形の文に戻って、過去進行形とはどういう場面で使うのかと問い直す。過去進行形は「過去のある時点において行われていた動作や一時的状態を表す」。学生の語学的知識を活性化させると、男の子が訴えるお腹の痛みは持病ではなく「何日も食事をしていないことで起こる一時的な状態」であったと、マザー・テレサは判断した（もし男の子の胃痛が持病なら病院に連れて行く必要がある）のだとわかってくる。

読み取った事柄を基に自分の考えを深め表現していく能動的読み手を育成する際に、生徒の世界知識と語学的知識をいかに活性化させるかが重要になるはずである。

## おわりに

平成29年度の学習指導要領改訂について、「基礎セミナー」「英語文学演習」「英語科内容開発研究」の授業で触れてきた。本稿では、1) 語彙の大幅な増加と2) 言語活動の拡充に伴う新しいテキストとの向き合い方に焦点を当て、令和3年度の教科書で何がどう変わったのかを検討した。また、授業で触れることができなかつた事柄も、同時にまとめておいた。今回の改訂では、語彙数の増加に注目が集まった。今回は、増加した語彙のかなりの部分が抽象概念を表す語彙であることを確認した。また、英語テキストの分量も増え、読み方も受信から発信へと移行していることを、具体的な問いを検討することで確認した。ところで、発信のための読み方に移行するのはよいとしても、英語テキストをどのように読めば、自分の考えを広げ深めていけるのかについては、まだ十分な検討が加えられていない。この点に関して、「基礎セミナー」



や「英語文学演習」で行っている、テキストに問いかけながら読むことを紹介した。

## 参考文献

- 開隆堂出版：『*Sunshine* 令和3年度用中学校英語教科書 内容解説資料』  
[http://www.kairyudo.co.jp/contents/02\\_chu/eigo/r3/index.htm](http://www.kairyudo.co.jp/contents/02_chu/eigo/r3/index.htm) (2021年3月26日閲覧)
- 笠島準一・関典明他：*New Horizon English Course 3*, 東京書籍, 2016.
- 笠島準一・阿野幸一・小串雅則・関典明他：*New Horizon English Course 3*, 東京書籍, 2021.
- 三省堂：『*New Crown* 令和3年度版中学校英語教科書 内容解説資料』  
<https://tb.sanseido-publ.co.jp/03ncpr/> (2021年3月26日閲覧)
- 東京書籍：『*New Horizon English Course* 令和3年度中学校 内容解説資料』  
[https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/chu/eigo/documents/eigo\\_naiyoukaisetsu.pdf](https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/chu/eigo/documents/eigo_naiyoukaisetsu.pdf)
- 松畑熙一他：*Sunshine English Course 3*, 開隆堂, 2016. (2021年3月26日閲覧)